

今日も「」あがり

第62話

仕事に自分の美学を映し出せ！ の巻



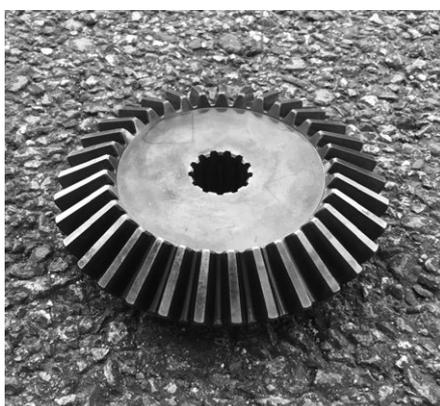
高垣達郎
(たかがき・たつろう)
1984年アメリカ生まれ、東京都大田区の町工場街で育つ。2011年に(株)ロボストスを創業し、農林水産業機械のワンオフ対応を軸に、独自のサービスを構築。A-1グランプリ2011グランプリを受賞。群馬県を拠点に、機械メーカー・ディーラー・農協・農業生産法人など、全国的に取引を拡大している。(株)ロボストス・代表取締役社長。

皆さん、明けましておめでとう
ございます！ 壊れた冷蔵庫にロ
ックアイスをぶち込んで冷やして
おりますロボストス高垣でござい
ます。さて、3年前に日本酒にハ
マってからというもの、600銘
柄以上の4合瓶を収集して利き酒
を繰り返した結果、酒の微かな違
いにも気づけるようになってしま
した。香りから余韻のキレまで自
分の味覚と合う酒に出会うと興奮
します。造り手が、人生経験を通
じてどんな酒を目指し、技術を磨

き、理想に近づけられたのか、と
想像すると楽しいんですね。「酒質
設計」コンセプト」と「酒造り」
スキル」は両輪ですが、僕は前者
をより重視しています。酒造りの
出発点となる酒質設計には造り手
の価値観が明確に表現されるし、
そこに「美意識」が垣間見られる
からです。そして酒の味の違いを
感じながら問うのは、「高垣自身
は何に価値を感じ、どんな仕事を
するか」ということ。きっと一生模
索し続けますが、今年も自分で

きることを続けていきたいと思います
図面のある仕事とない仕事
2022年国際農業機械展が延
期になりました。前回18年の時は、
濃霧の影響で帯広空港に着陸でき
ず羽田空港まで折り返した悲劇と
ともに、あるメーカーに展示機の
駆動部品をサプライしたことも思
い出します。図面のある下請け仕
事でしたが、ベベルギヤから平歯
車まで30点以上を納品しました
(写真参照)。

僕はブラケットやフレームも
作っていることを考えると、すで
に機械まるごと作る力が備わって
いるんですよ。いつか国際農業
機械展でロボストスが作った機械
を発表することも夢見るけれど、
作れるから作るうとするのではな
く、「目指す仕事」コンセプト」と
「作れる」スキル」は別物。どこに
価値を感じて、どんな仕事をする
か。昨年はオリジナル製品も発表
しましたが、今年も原点に戻って
「廃番部品」に力を入れていきま
す。理由は、やっぱり僕は「図面
のない部品を蘇らせる仕事」を美
しいと思うているから。というこ
とで！ 今年も生き方を大切にし
て技術を磨いていきますので、宜
しくお願ひ致します。今月は4丁
あがり~~~~~♪



写真：2018年に北海道・帯広市で開催された
国際農業機械展に向けて各種駆動部品を製作。
出展メーカーから依頼時に図面を渡されたもの
の、コストを合わせるために製図し直し、短納
期で仕上げるのは大変だった。でも図面がある
仕事と図面がない仕事では、根本的に仕事が違
うこともよくわかった。僕らのように、決して
表に出てこない、国際農業機械展を支えるサプ
ライヤーたちがいたことも知っておいてほしい